



花さき山

タイトル文字：滝平二郎



育児コンシェルジュ

毎週火曜日・木曜日
10:00~14:30

育児のお悩み相談が
出来ます。
お子様にオススメの本も
紹介します。

※ 専門スタッフが対応します。

大人向け映画会

場所：明野図書館 視聴覚室
日時：9月19日（日）
10:00~11:40
内容：「モリのいる場所」
（上映時間：約100分）
対象：先着10名
申込：9月7日より電話または
窓口にて受付

図書館サイト 説明会

お手持ちのスマートフォンやタブレットで
図書館サイトを活用しませんか？

使い方をご説明します！

日時：9月1日（水） 11:00~12:00

定員：5名（電話または窓口にて受付。
当日受付も可。）

ぬりえ王選手権！

【第3回目】

場所：明野図書館

ぬりえ配布期間：9月1日（水）
~9月26日（日）

内容：イベント期間中、ぬりえを配布
します。塗ってもらったぬりえは
明野図書館に飾ります。

定員：20人

対象：年齢制限なし

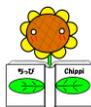


フィーチャー Feature

スタッフおすすめコーナー
9月のテーマは「時間」



誰にでも平等にあるのが時間です。
どう使うのかは、人それぞれ…。
あなたは、どう使いますか？



加波山事件 外伝 I (全6回)

はんしちみちこ

加波山事件に関する政談演説会の会場になった小島座の歴史 (第1回)下館における芝居小屋のルーツ

山川出版社<茨城県の歴史>211頁に、上方から江戸に人形浄瑠璃・歌舞伎が流入したほぼ同じところに、常陸の水戸に大薩摩縫殿左衛門(おおさつまぬいざえもん)、土浦に北条若狭、下館に鈴木十郎左衛門の座元が成立しているとあります。

うばら書<茨城の人形芝居>7頁に宝永5(1708)年5月、弾左衛門の諸国主要座元への詫状の宛先の中に(水戸殿・大薩摩縫殿左衛門土屋殿・北条若狭 黒田殿(下館藩)・鈴木十郎左衛門)の名前が出てきます。

歌舞伎の歴史によれば、江戸歌舞伎が成立するのは寛永元(1624)年、初代猿若「中村」勘三郎の猿若座に始まるとあります。寛永6(1639)年水戸頼房の長男 頼重が下館5万石で入国(移封)したころに、もしかすると鈴木十郎左衛門の一座が下館に成立したのではないかと思われる。何故かと言え、参勤交代などで江戸との交流が盛んに行われるようになった、と推測いたします。

下館市史[下]533~534頁に田宮文書 天明9(1789)年「町々江中達」1項目に、浄瑠璃8人芸等・・・寛政12(1800)年、正月の申し渡しに対する請書にも繰(あやつり)、角力(すもう)、歌舞伎・・・とあります。

享和年間(1801-1803)下館藩も財政の窮乏を補う意味で、この方面からの収入を考えるようになり、まず社寺の祭礼を機として種々の芝居などが興行されるようになった、とあります。

小島 毅氏に戴いた<茨城の芸能史>に、下館の笠抜き踊りの記事があり、それによると、天保10(1839)年頃、下館藩に仕えていた元馬廻り役であった「勘治」という者が考案したものとある。この踊りは今も下館の各小学校の運動会などで踊りつながられています。約180年前に考案された盆踊りです。凄いですね。下館の芸能です。

鈴木十郎左衛門一座は、嘉永・安政年間(1850)頃 二階建の常設館を建てます。この常設館がやがて小島座となって行きます。

江戸の芝居小屋のように座元の苗字を小屋の名に命名して「鈴木座」と言ったのかも。